

futbol y vida



Poco a poco ...
Poco a poco ...

2022 新シーズンがスタート!!
インターハイの組み合わせ決定!!

三年目の“勝負”を懸けた “2022”シーズン がスタート !!

今年度も更に『進化』を目指し突き進んでいく!!

3月26日(土)からスタートした“spring football carnival”は、ラスト二日間こそ荒天に見舞われましたが、全日程を無事に終了しました。特に、T3所属の同地区の日野台高校、国学院久我山高校とTRMができたことは、サッカー部の現在地を確認する上で貴重なゲームとなりました。この二試合で通用したことや課題が明確となり、二週間後のインターハイ予選までの限られた時間の中で、チームとして個人としてどこまで修正できるのか?しっかりと詰めてトレーニングをしていきたいと思えます。

また、最終日は、二日間の雨で片倉グラウンドが使えず、急遽、東海大高輪台高校の人工芝のグラウンドに招待していただきTRMができました。前日は雨の中でドロドロになりながらサッカーに懸ける本気度を試されたゲームこの日は日頃の積み重ねの御褒美をサッカーの神様に頂いた形で恵まれた環境の中でのゲームと『天国と地獄』の両方を体験することができました。公式戦では十分に考えられるシチュエーションの両方を体験できたことや“spring football carnival”に多くのチームが参加していただいて子どもたちが揉まれたことにも感謝感謝感謝です。本当にありがとうございました。



＜最終日は高輪台の人工芝グラウンドで＞

ゲームこそが、最高のトレーニング!!

片倉高校サッカー部の生命線であるTRMを春休みは一日3ゲームを十日間に亘り行うことができ、“ゲーム感”が徐々に戻りつつあります。トレーニングではスキルアップは望めますが、相手との間合いやコンタクト、プレッシャーを体感しながらのプレーや運動強度は、ゲームには全く叶いません。そのために、TRMの相手チームもTリーグ所属のチームや県外のチームをお願いをしてマッチメイクをしています。公立高校でここまでのチームと出来るのは幸せです。もちろんグラウンドがあるというメリットも大きいです。大会までの四試合も駒大高、東京実業、狛江高校と格上チームとのゲームです。インターハイ予選に向けて準備は万端です。

さて、新学期もスタートし、例年より少なめですが覚悟を決めた51期生が練習に参加し始めています。インターハイ予選までのTRMで、試してみたいですね。新入生の刺激がチーム内でお互い切磋琢磨を生み出し、公式戦に向けてバチバチと激しいポジション争いが出てくることを期待しています。



東京のトップゲーム(関東大会予選)を観て、何を肌で感じたか？

4月3日(日)から、**関東大会予選東京都大会**が行われています。この大会は、先の選手権予選で各ブロックのベスト8(16チーム)と新人戦各地区の勝ち上がり2チームの計30チームが参加しています(プリンスリーグ所属の帝京・関東一は辞退)。

今大会の運営は七地区高体連で行い、片倉高校は10日の二回戦と23日の代表決定戦の駒沢第二グラウンドでのゲームを運営します。

もちろん、メインは大会運営であります。目の前で東京都のトップを目指すチーム同士の闘いを間近で観られることは、何よりも子どもたちにとって一番の刺激になります。選手の勝負に懸ける気持ちや真摯にサッカーに取り組む姿勢、ピッチ上の熱量、空気感、スピード等…。やはり子どもたちにとって本物に直に触れる機会は大切です。特に、先日TRMをしたばかりの同じ都立高校である**日野台高校**や何度もTRMでお世話になっている**駒大高 VS 東海大高輪台**のゲームは、片倉の子どもたちもマッチアップしている選手もいるので親近感を持ったのではないのでしょうか？強豪チームは毎回こういう厳しいゲームを積み重ねて今の力を身に付けています。今回の運営を通して都大会という舞台にいずれは自分たちも立ちプレーをしたいと思ったことでしょうか。公式戦という緊張感のある真剣勝負の経験は何ものにも代えがたいです。そういう場に十年以上も立てなければチームの力はトータルで衰退します。次のインターハイ予選では、都大会という舞台に立ち片倉高校サッカー部も自信をつけたいものです。



<この日の好カード駒大高 VS 東海高輪台>



<80分間激しい戦いが繰り広げられた>



<恒例の第五試合は片倉 VS 東実>

<After the Game>

新年度がスタートし、授業の方も本格的に始まりました。新たな教室、教科担当の先生方、二年生はクラス替えをしたので新たなクラスメイト、そして、51期生の新入部員等…。まずは、新たな環境に早く慣れて、学校生活を軌道に乗せていきたいですね。

先日、インターハイ予選の組み合わせ抽選会があり対戦相手が決まりました。同ブロックの対戦チームは、ここ数年高く聳え立っていたシード校(都大会常連校)のようなチームはありませんが、決して楽に勝ち上がれる相手ではありません。恐らく、他のチームも同じように考えていると思います。まずは初戦から全力で立ち向かい、ここまで積み上げてきたTR量とTRM数で相手を凌駕し勝ち上がって、念願の都大会進出を決めたいと思います。

今大会も「新型コロナ感染拡大予防」の観点から、無観客試合・組み合わせ表非公開となっています。趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします(子どもたちには伝えます)。

また、今年度は、例年に比べ少ないながらも活きのいい新入生が練習に参加し、即戦力として期待できるものもいます。まだ、高校サッカー部の厳しさには触れていませんが、何人の新入生が**登竜門**を登り切ることができるのでしょうか？楽しみです。